

FD 622

仲悅

獨立第二大隊本部

陣中日誌

22939

軍事極秘

自昭和二十年二月十七日
至昭和二十年二月二十八日

表紙附表共
貳拾七枚

二月十七日

雨

沖繩縣島尻郡阿嘉島

一軍ハ緊迫セル狀況ニ即應スル爲各海上挺進基地大隊ヲ

戰列ニ組織セラレ、大隊ハ二連基作命第三六號ニ基キ

編成完結二月十七日拂曉獨立混成第四十四旅團長ノ

指揮下ニ入ラシメラレ爾後獨立第二大隊ト呼称ス

下達命令ニ作命 獨ニ作命第一號 別紙ノ如シ

勤務 三荷物監視衛兵 徳田伍長以下一八名(各隊六)

事項 四六〇ヨリ各隊展開地ヨリ海岸ニ梱包集積シ人員ハ

副官、指示ニ依リ疎開待機ス

一六〇〇 残留者ニ隊長訓辞

五本日總員左ノ如シ

大隊長以下 六三四名

大隊本部人(馬)員左ノ如シ

總員三一名馬ナシ勤務員二六名計五七名内二名入



二月十八日 第二八興國丸、明德丸、實策丸船内ニ於テ勤務ス
 曼時々雨ニ下達命令

第六興國丸
 船内

三作業
 作命 獨ニ作命第二、第三號 別紙ノ如シ

各隊ヨリ下士官一、兵六。袴田少尉、指示ヲ受テ荷物
 搭載一四。梱包積載完了

勤務 四 金櫃衛兵 永田兵長以下三名

那霸埠頭到着後

部隊日直將校 吉川少尉

巡察下士官 豊田曹長

部隊衛兵 宮本軍曹以下六名

事項五、二。大隊長、副官、本部員第二八興國丸ニ乗船
 各隊ヨリ下士官一、兵五、人員搭載係トシ山口少尉、
 指示ヲ受テ

一五四。全員乗船完了 乗船々名及人員左ノ如シ

本部 第二八興國丸 五名

明德丸 三名

實策丸 三名

第一中隊 第七興國丸 一六五名

明德丸 一五名

第二中隊 第二八興國丸 一五六名

第三中隊 實策丸 一八八名

一六〇。南嘉島出港

二一四。那霸埠頭着

六本日總員左ノ如シ

大隊長以下六三四名

大隊本部人(馬)員左ノ如シ

總員三名馬ナシ 勤務員二六名計五七名内二名入院

二月十九日

日興時々雨

沖繩警備隊
玉城村仲村渠

玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス
受領命令

獨混四旅作命第三八號

獨立混成第四旅團命令

二月十六日一〇〇〇
高平旅團司令部

一。獨立歩兵三ヶ大隊ハ新ニ予ノ指揮ニ屬セラレ十八日
朝到着ノ予定ナリ

二。旅團ハ増加兵力ヲ以テ戰備ヲ強化セントス

三。各部隊ハ別冊作戦討画大綱ニ基キ夫々戰鬥ヲ
準備スベシ

旅團長 鈴木少將

獨混一五作命第三八號

南地區隊命令

二月十六日一六〇〇
糸 教

一。地區隊ハ一部兵力ヲ増強セラル

二。獨立第一大隊ハ屋嘉部玉城國民學校ニ宿營スベシ

三。獨立第二大隊ハ慶良原附近ニ宿營スベシ

四。宿營スル兩大隊ハ先ツ空爆ニ對シ絶對安全ナル洞窟

ヲ宿營地附近ニ搜索シ空襲時並ニ艦砲射撃ニ

對シ絶對損害ヲ蒙ラザル如ク處置スベシ

五。予ハ糸教ニ在リ

南地區隊長 美田大佐

下達命令 三。作命 獨混二作命第四第五號 別紙ノ如シ

勤務 四。金櫃衛兵 牧兵長以下三名

荷物監視衛兵 宮本軍曹以下九名(各隊三名)

事項 五。本部各隊(各下士官一兵三)設營者五。〇。埠頭出發

一。三。軍船舶團長ノ指揮下ヲ離ルルニ當リ團長訓練

二。〇。各隊新任地ニ向ケ埠頭出發

一。三。〇。大隊長旅團及聯隊ノ申告ヲ了ヘ任地着直ニ
副官ヨリ狀況報告ヲ受リ

西。大隊長、宿營地視察

左記、者内科病名未定、沖繩陸軍病院ニ入院ス

第一中隊 高垣一等兵以下二名

六本日總員左、如シ

大隊長以下六三四名

大隊本部人(馬)員左、如シ

總員三名馬十、勤務員二六名計五七名内二名入院

二月二十日 玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス

雨 二受領命令

玉城村

獨混一五作命第四號

別紙、如シ

下達命令

三作命 獨三作命第六第七號

別紙、如シ

作業

四各隊配宿地宿營、為整理及糧秣運搬實施

勤務

五荷物監視衛兵 田中伍長以下九名(各隊三名)

事項 五大隊長陣地視察

一四。隊長會同、副官代理出席

左記、者沖繩陸軍病院退院帰隊ス

第一中隊 桧木上等兵

第二中隊 寺澤上等兵以下二名

六本日總員左、如シ

大隊長以下六三四名

大隊本部人(馬)員左、如シ

總員三名馬十、勤務員二六名計五七名内二名入院

二月二十日 玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス

雨 二作業

玉城村

各隊宿舍整理、梱包及糧秣運搬實施

勤務

三荷物監視衛兵 宮本軍曹以下九名(各隊三名)

事項 四聯隊本部岡澤大尉來隊 大隊長副官、會同諸般
ノ打合ヲシ、晝食後歸隊

副官將校職員表持參 聯隊本部へ行
五本日總員左、如シ

大隊正員以下 六三四名
大隊本部人(馬)員左、如シ

總員三名馬十名 勤務員三名計五七名内二名入院

二月二十二日 玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス

晴ニ受領命令

玉城村 獨混一五作命第四三號

南地区隊命令

二月二十二日

一地区隊ハ旅團砲兵及高射砲陣地構築ヲ為促進
ノ為所要兵力ヲ差出シ、之ニ協力セシム

貳字抹消

二獨立第三大隊長ハ二月二十三日以降兵力約百名ヲ

旅團ニ差出シ砲兵隊長、指揮下ニ入ラシム

三第一大隊ハカチヤバル高射砲陣地構築、為

旅團予備隊ヨリ出ツル兵力約五十名ニ對シ二月

二十三日ヨリ作業間、給與ヲ担任スベシ

南地区隊正員 美田大佐

下達命令 三作命 獨ニ作命第八号別紙、如シ

作業 四各隊宿舍及環境ノ整理、梱包糧秣運搬實施

勤務 五 本部 日直下士官 福本伍長

本部 日直上等兵 山田兵長

事項 六九三。大隊長副官帶同任地地理實査

二二〇。以機附近南方海岸ニ沿ッテ銃撃ス

三三五。大隊長軍參謀長ノ陣地視察來所ヲ

系敷城趾附近ニ出迎

一六。旅團砲兵隊副官 旅團作命ニ依ル作業提携
打合ニ來隊副官ト會同

一八。乙長宅ニテ大隊長以下將校全員部落代表
者ト會食

七本日總員左ノ如シ
大隊長以下 六二四名

大隊本部人(馬)員左ノ如シ
總員三名馬十名勤務員二六名計五七名内二名入院

二月二十三日 玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス

晴 二下達命令

玉城村

獨二日命第一號

日々命令

一 陸軍中尉 古川長考

連絡所長ヲ免ス(二月十七日附)

二 陸軍中尉 古川長考

連絡所糧秣諸品陣營具被服保管者ヲ免ス(二月十七日附)

三 陸軍主計中尉 藤井五郎八

梱包整備ノ為ニ二月二十二日ヨリ当分ノ間那霸ニ
派遣ヲ命ス(二月二十二日附)

四 陸軍衛生上等兵 飯間政太郎

患者ヲ護送シ本二十三日那霸陸軍病院ニ出發

任務終了後速ニ帰隊スベシ

會報

一兩後空襲時ニ備ヘ常時崩帶包ヲ携行スベシ

但シ戰傷ヲ受ケタル際使用スルモノニシテ通常ノ

使用ヲ禁ズ

作業三 宿舍整理及梱包糧秣運搬實施

勤務四

本部日直下士官 寺尾伍長
本部日直上等兵 吉川上等兵

事項五。一。五。一機小銃飛行場ニ爆彈投下退去セリ

二。三。大隊長聯隊本部へ行ク

三。三。第一中隊第三小隊作命第七号ニ基キ獨立

小隊トシテ第一中隊地ニヨリ本部宿營地ニ移動來所

一五。副官第三中隊ニ編成替ノ件ニ付キ連絡ニ行ク

本日左記ノ者内科病名未定ニテ那霸陸軍病院ニ入院ス

第二中隊 土井軍曹

六本日總員左ノ如シ

大隊長以下六二四名

大隊本部人(馬)員左ノ如シ

總員三二名馬十名勤務員二六名計五七名内三名入院

(三)

二月二十四日
曇後雨
玉城村

一玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス

二下達命令

獨二日命第二號

一免第一中隊 陸軍曹長 清水 實

命同 陸軍軍曹 山本義一

頭書ノ通リ第一中隊復分任官ヲ免命ス

二第一中隊 陸軍上等兵 梅本茂右工門

同 同 一等兵 藤原 進

同 同 一等兵 尾崎 榮吉

第二中隊 同 上等兵 宮山 藤松

同 同 一等兵 長田 久七

第三中隊 同 上等兵 曾根 芳三

同 同 上等兵 丸家 俊三

大隊炊事勤務ヲ免不依テ本二十四日昼食後中隊ニ服帰スハシ

陸軍

三	第一中隊	陸軍軍曹	杉原武男
	第二中隊	同 軍兵長	高田宏善
	同	同 上等兵	佐々木 競
	同	同 上等兵	亀井勇夫
	同	同 上等兵	箕浦 勝
	同	同 上等兵	伊奈元次
	同	同 一等兵	高木正夫
	同	同 二等兵	後藤房夫
	同	同 二等兵	岡安清市
	第三中隊	同 一等兵	高梨嘉金
	曉第六四部隊轉屬命令(入院者昭九九四附)		
四	第三中隊	陸軍上等兵	庄司藤作
	命令陸軍兵長(二月十七日附)		
五	第三中隊	陸軍兵長	庄司藤作

二月十八日二二五	細菌性赤痢、為死亡ス
六	第二中隊 陸軍一等兵 北山 進
	命令陸軍上等兵(二月十七日附)
七	第二中隊 陸軍上等兵 北山 進
二月十八日〇六五	腸チフス、為死亡ス
作業 三	本 部 防空壕構築作業実施
	第一中隊 配宿地移動、移動後、宿舎整理
	第二中隊 陣地構築作業実施
	獨立小隊 宿舎整理及梱包運搬
	本日作業出勤人員 八五名(本部、第三中隊)
勤務 四	本部週番下士官 寺尾伍長
	本部週番上等兵 吉川上等兵
事項 五	八三。第一、第二中隊各五名作命第八號二基キ
	旅團砲兵隊陣地構築促進、為作業協力ニ砲兵隊

陣地ニ出發ス

九。兵器現況報告旁々兵器係聯隊本部

柴田少尉ノ下ニ連絡ニ行ク

貸與馬トシ乘馬ニ頭當隊ニ借受

副官旅團砲兵隊副官ト兵力差出シニ付キ面談

人員異動六。日命第三号第三項ニ依リ杉原軍曹以下一。名曉第

六。四。部隊ニ轉屬

二。日命第三号第五項ニ依リ庄司兵長ノ死亡

三。日命第三号第七項ニ依リ北山上等兵ノ死亡

七。本日總員左ノ如シ

大隊長以下六一二名

大隊本部人(馬)員左ノ如シ

總員三名馬二頭勤務員二六名計五七名内二名入院

二月二十五日 一。玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス

曩後晴 二。下達命令

玉城村 獨二。日命第三號

一。彈藥集積場衛兵本二十五日ヨリ当分ノ間清水小隊

ヨリ上等兵一兵三ヲ毎日一九。〇〇ヨリ翌朝。七。〇ニ

至ル間兵器委員室ニ差出シ袴田少尉ノ指示ヲ

受クベシ 服裝ハ執銃帶劍

作業三。本 部 防空壕構築作業実施

第一中隊 陣地構築作業実施

第二中隊 右 同

獨立小隊 右 同

本日作業出勤人員一七二名

勤務 四。彈藥集積場衛兵 佐々木上等兵以下四名

事項 五。大隊長第三中隊陣地及作業視察

作命第八号ニ依ル兵力差出シ本日ハ第一第二中隊
各二五名計五〇名ハ三。砲兵隊陣地ニ出發ス

一 医務室移動ス

六本日總員左ノ如シ

大隊長以下六二二名

大隊本部人(馬)員左ノ如シ

總員三名馬二頭勤務員一八名計凡名内二名入院



二月二十六日 一 玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス

晴 二 下達命令

玉城村

獨ニ日命第四號

一 免 第三中隊 陸軍曹長 伊佐治耕生

命 同 軍曹 山本信雄

頭書ノ通り第二中隊復分任官ヲ免命ス

二 第三中隊 陸軍一等兵 木村市藏

本部將校傳令ヲ免ズ

三 第三中隊 陸軍一等兵 藤原 勇

本部炊事勤務ヲ免ズ

作業 三 本部 防空壕構築作業実施

第一中隊 陣地構築作業実施

第二中隊 右 同

独立小隊 右 同

機関銃隊 編成完結宿舍整理

本部日作業出勤人員二〇四名

四 彈藥集積場衛兵 中島上等兵以下四名

勤務 五大隊長第一中隊陣地及作業視察

作命第六號ニ基キ機関銃隊編成各隊編成替シ

集合宿舍ニ入ル

六本日總員左、如シ

大隊長 以下六一二名

大隊本部人(馬)員左、如シ

總員三名馬二頭勤務員一八名計五九名内二名入院

二月二十七日

晴

玉城村

一玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス
二下達命令

獨二日命第五號

一急造爆雷留作製ノ爲各中隊ハ(除第三中隊)二月二十七日
ヨリ兵二名ヲ本部兵器室ニ差出シ袴田少尉ノ
指示ヲ受ケベシ

二第二中隊 陸軍衛生上等兵 飯間政太郎

患者ヲ護送シ明ニ十八日沖繩陸軍病院ニ出發任務

終了後速ニ帰隊スベシ

會報

一前任地ト異リ他部隊及住民トノ關係ヲ考慮シ隣接
部隊火藥事故(三個同一坑内ニ裝置シタル場合一個
爆發シ一個遲發)事故ニ鑑ミ特ニ火藥使用ニ付テハ
事故ナキ様注意サレ度

作業三 本 部 防空壕構築作業実施

第一中隊 陣地構築作業実施

第二中隊 右 同

第三中隊 右 同

獨逸小隊 右 同

機周銃隊 兵器手入及宿舍整理

勤務四 彈藥集積場衛兵 笹部上等兵以下四名

事項五 大隊長及第二中隊陣地視察

聯隊本部岡澤大尉伊藤曹長來隊大隊長副官

ト會同昼食後帰隊

本日左記、者内科病名未定ニ沖繩陸軍病院ニ入院ス
西。情報第三中隊 竹田一等兵

二十八日以降南支及太平洋方面、米空軍ハ本土及
南西諸島及台湾爆撃、企圖アリ。以上聯隊本部
ヨリ一四。情報受ク

六本日總員左、如シ

大隊長以下 六一二名

大隊本部人(馬)員左、如シ

總員三名馬二頭勤務員八名計四九名内二名



二月二十八日

晴 二作業

玉城村

一玉城村仲村渠ニ於テ勤務ス

本部 防空壕構築作業実施

(三)

第一中隊 陣地構築作業実施

第二中隊 右 同

獨立小隊 右 同

機關銃隊 午前教育午後陣地構築作業実施

本日作業出勤人員 二二四名

勤務 三彈藥集積場衛兵 川島上等兵以下四名

事項 四大隊長陣地視察

一三、三。 陣一機西北方ヨリ東北方へ飛來

情報

一三、七。 陣一機小銃南西ヨリ侵入シ那霸入港中、

船團ニ對シ爆彈六個投下セルモ被害ナシ 爾後

北上シ沖繩本島全般ヲ偵察一三、五五南方ニ

脱去セリ 高度一萬米

本日左記、者沖繩陸軍病院 退院 帰隊ス

陸軍

第二中隊

高田一等兵

第三中隊

森村一等兵以下二名

本日左記者基地隊本部勤務ヲ免セラレ帰隊ス

第一中隊

長岡兵長

第三中隊

望月上等兵

五本日總員左、如シ

大隊長以下六一二名

大隊本部人(馬)員左、如シ

總員三名馬二頭勤務員八名計四九名内二名入院

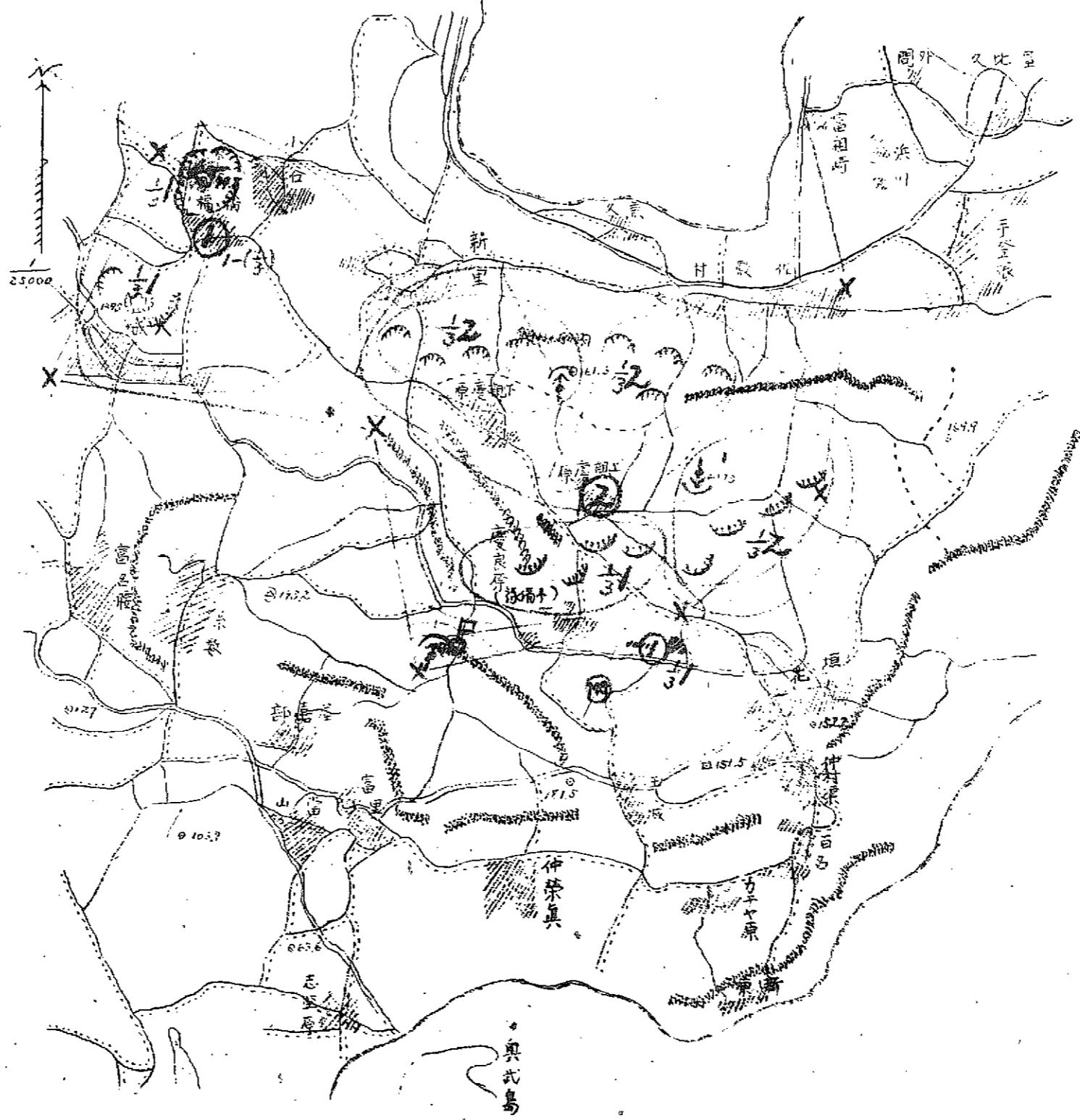
(三)

陣地配備概要圖



○ 部隊位置
 陣地
 戰鬥地境
 ↑ 機関銃

陣地配備概要圖



- 部隊位置
- ∩ 陣地
- ∩ 戰鬥地境
- ↑ 機關銃

独立第二大隊將校職員表

昭二〇二六現在

								大隊長(船舶)		少佐	古賀宗市
								附(船舶)		中尉	水谷榮治
								同(船舶)		少尉	袴田安一
								同(入院)		少尉	佐々木虔來
								同(入院)		主中尉	藤井五郎八
								同		醫見習士官	谷内春義
								同		醫見習士官	新里幸徳
								中隊長(船舶)			古川長彦
								第一隊長(船舶)			廣部千代士
								中隊長(船舶)			井上十四雄
								第二隊長(船舶)			山口靖
								第三隊長(船舶)			吉川健三
								中隊長(船舶)			仲谷金逸
								第一隊長(船舶)			丸地悦次

獨立第二大隊本部編成表

昭二〇二一六現在

統計	〃 〃 〃 衛生 〃 主 〃 〃 〃 〃 〃 書	長 隊 大
	一 上 〃 醫 長 農 〃 〃 長 〃 〃 曹	陸軍少佐 古賀宗市
〃	中 竹 太 立 松 柳 福 寺 西 森 前 小 西 村 田 川 本 原 本 尾 尾 田 森 一 正 朝 三 福 榮 頼 敏 刊 二 三 一 義 七 三 一 忠 郎 清 也 進 武 三 一 義 七 三 一 忠 郎 清 也 進	
	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 傳	
〃	〃 〃 〃 一 〃 〃 〃 上 〃 〃 〃 兵	醫 醫 主 暗 兵 指 士 士 中 尉 尉 尉 長 尉 尉 尉 尉 尉 尉
	渡 近 今 小 吉 藤 川 藤 山 石 林 大 辺 藤 谷 松 川 井 口 井 田 野 山 増 溢 寛 亮 宜 哲 省 傳 金 次 郎 雄 一 郎 猛 圓 男 之 市 男 造 稔 猛 郎 雄 一 郎 猛 圓 男 之 市 男 造	新 谷 藤 佐 袴 水 里 内 井 木 田 谷 幸 春 五 虔 安 榮 徳 義 郎 八 來 一 治
三一名	〃	

編成

二連基作命第三六號

連絡基地第二大隊命令

二月十六日 一八〇〇

一軍ハ緊迫セル狀況ニ即應スル爲各海上挺進基地大

隊ヲ戰列組織シ一般戰鬥準備強化ヲ企図ス

新編獨立大隊ハ二月十七日拂曉獨立混成第四十四

旅團長指揮下ニ入ラシムラル

二大隊ハ球參編第十七號別冊「海上挺進戰隊同基

地大隊假編成規定」ニ基キ速ニ改変ヲ實施シ戰

斗準備強化ヲ期セントス

三本部各中隊ハ編成規定ニ基キ速ニ編成ニ着手スベシ

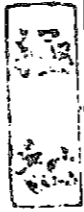
其細部ニ関シテハ副官ヲシテ指示セシム

四勤務隊整備隊ハ獨立大隊出發後戰隊長指揮

ヲ受クベシ

五予ハ大隊本部ニ在リ

大隊長 古賀宗市
 下達法 要旨口達後印刷交付
 配布先 第一、二、三勤務中隊整備中隊
 報告先 第五連絡基地隊本部



獨三作命第一號

獨立第二大隊命令

二月十六日一八三。
 阿嘉島

一大隊ハ十七日新任務ニ轉進セントス

二各中隊ハ勤務隊要員ヲ残置シ明十七日〇六〇〇乗
 船シ得ル如ク準備ヲ完了スベシ

三勤務員左ノ如シ

荷物搭載揚陸係

袴田少尉

同 助手

前田軍曹

人員搭載揚陸係

山口少尉

同 助手

山崎伍長

荷物集積場衛兵

下士官

(第二勤務中隊)

上等兵

(第三勤務中隊)

兵

(第二、三勤務中隊各二)

四乘船ハ荷物ヲ搭載シタル後本軍搭載ニ三勤務中隊
本部ノ順序トス

五勤務ノ交代ハ明十七日〇五〇トス
六細部ニ関シテハ水谷中尉ヲシテ指示セシム
七予ハ大隊本部ニ在リ

下達法 要旨口達後印刷交付 大隊長 古賀宗市
配布先 第一二三勤務中隊
報告先 第五連絡基地隊本部



獨立第二大隊命令

二月十八日二一〇
於那霸港岸壁

一大隊 本十八日夜乘船、儘宿營セントス
二本部 各中隊ハ現在、儘宿營スベシ
三勤務員左ノ如シ

部隊日直將校 吉川少尉
巡察下士官 豊田曹長

四給養ハ兵站ニ於テ担任ス其細部ハ吉川中尉
ヲシテ指示セシム

五予ハ第二八興國丸ニ在リ
大隊長 古賀宗市

下達法 要旨口達後印刷交付
配布先 第一二三中隊
報告先 獨混歩第一五隊長

極秘

獨二作命第三號

獨立第二大隊命令

二月十八日
於那霸港岸壁

一大隊八日早朝人員並貨物揚陸ヲ行ヒ速

ニ任地ニ向ヒ前進セントス

二人員貨物揚陸ハ乘船搭載時、反対トシ勤務員

ハ乘船時ニ同ジ

其細部ハ袴田少尉ヲシテ指示セシム

三月十九日。四〇〇集積場衛兵トシテ左ノ人員ヲ袴

田少尉、許ニ差出スベシ

第一中隊

下士官 一 兵 一

第二中隊

上等兵 一 兵 一

第三中隊

兵 二

四人員並貨物揚陸ハ疎開集結並分散集積ヲ

ナシ対空警戒ニ萬遺憾ナキヲ期スベシ

細部ニ関シテハ水谷中尉ヲシテ指示セシム
五本部各中隊ハ設営者トシテ下士官一兵三ヲ明十
九日。四。岸壁ニ差出シ水谷中尉ノ指示ヲ受ケ
シムベシ

六行軍ハ本部第一第三中隊ノ順序ニ中隊行
軍トシ其出發時刻並ニ宿營地ニ関シテハ別ニ示ス

七主計ハ各宿營地毎ニ少クモ三日分ノ糧秣ヲ明十

九日中ニ輸送交付スベシ

八軍医ハ行軍間ニ於ケル救護ニ任セヘシ

九予ハ第二八輿國丸ニ在リ爾後本部ノ先頭ニアリテ
前進ス

大隊長 古賀宗市

下達法要旨口達後印刷交付

配布先第一二三中隊

報告先獨混歩第一五隊長(馬)

獨ニ作命第四號

獨立第二大隊命令

二月十九日一四〇〇
於玉城村仲村渠

一大隊ハ爾後玉城村附近ニ宿營セントス
二本部各中隊ハ左ノ如ク設営者ノ指示ニ依リ宿營
スベシ

本部 玉城村仲村渠

第一中隊 大城附近

第二中隊 下親慶原附近

第三中隊 大里村西原附近

三宿營ノ内務勤務ハ各中隊毎ニ實施スベシ

四給養ニ関シテハ別ニ示ス

五予ハ仲村渠本部ニ在リ

大隊長 古賀宗市

下達法要旨口達後印刷交付

配布先 第二三中队
報告先 獨混歩第一五隊長

極秘

第一作命 第五号

獨立第二大隊命令

二月十九日
於玉城村仲村渠

一大隊(第三中队欠)ハ獨混四四作命 第二八號ニ基キ
南地區隊長ノ第三中队ハ北地區隊長ノ各々指揮

下ニ入ラシメラル

二大隊ハ現在地ニ在リテ速ニ戰機ニ即應スル態勢
ヲ急速ニ整備セントス

三本部 各中队ハ先ツ空爆ニ対シ 絶対ニ安全ナル

洞窟ヲ宿营地附近ニ搜索シ 空襲時竝ニ艦
砲射撃ニ対シ 絶対損害ヲ蒙ラザル如ク 處置スベシ

四予ハ玉城村仲村渠本部ニ在リ

古賀宗市

下達法要旨口達後印刷交付

配布先 第一二三中队

報告先 獨混歩第一五隊長

軍隊區分

右第一線

長 獨立混成第十五聯隊第三大隊長 西村少佐

獨立混成第十五聯隊第三大隊

王城防衛中隊

中第一線

長 獨立步兵第二十九大隊長 中本大尉

獨立步兵第二十九大隊 (欠第三中隊)

左第一線

長 獨立混成第十五聯隊第一大隊長 野崎大尉

獨立混成第十五聯隊第一大隊 (欠一小隊)

佐敷防衛中隊

知念半島守備隊

長 獨立混成第十五聯隊第二大隊長 井上大尉

獨立混成第十五聯隊第二大隊

大隊砲小隊

機関砲小隊

知念防衛中隊

北守備隊

長 獨立第二大隊長 古賀少佐

獨立第二大隊 (欠第三中隊)

聯隊砲隊

長 獨立混成第十五聯隊聯隊砲中隊長 杉浦中尉

獨立混成第十五聯隊聯隊砲中隊

速射砲隊

長 獨立混成第十五聯隊速射砲中隊長 古川中尉

獨立混成第十五聯隊速射砲中隊

工兵隊

長 獨立混成第十五聯隊工兵中隊長 北村大尉

獨立混成第十五聯隊工兵中隊

重砲隊

長 重砲兵第七聯隊第二中隊小隊長 山崎少尉

重砲兵第七聯隊第二中隊第一小隊

大隊砲小隊
機関砲小隊
知念防衛中隊

北守備隊

長

獨立第二大隊長

古賀少佐

獨立第二大隊(欠第三中隊)

聯隊砲隊

長

獨立混成第十五聯隊聯隊砲中隊長

杉浦中尉

獨立混成第十五聯隊聯隊砲中隊

速射砲隊

長

獨立混成第十五聯隊速射砲中隊長

吉川中尉

獨立混成第十五聯隊速射砲中隊

工兵隊

長

獨立混成第十五聯隊工兵中隊長

北村大尉

獨立混成第十五聯隊工兵中隊

重砲隊

長

重砲兵第七聯隊第二中隊小隊長

山崎少尉

重砲兵第七聯隊第二中隊第一小隊

通信班

長

獨立混成第十五聯隊通信班長

柴田中尉

有線 四個分隊

無線 六個分隊

軍鳩分隊

軍犬分隊

豫備隊

長

獨立歩兵第二十九大隊中隊長

三浦中尉

獨立歩兵第二十九大隊第三中隊

獨混五作命第四號

南地區命令

二月十九日 〇〇〇〇
絲教

一 地區隊ハ兵力及火器、増加ニ伴ヒ獨混五作命第三〇號ニ基ク
部署ノ一部ヲ變更シ、戰備ヲ強化セントス
第二、三、四、五項省畧

六 北守備隊ハ北地區隊ニ連繫シ、場天港ヨリ上陸スル敵ニ對シ一部
ヲ以テ、稻福高地ヲ占領スルト共ニ主力ハ慶良原東方高地
標高一七三高地附近及下親慶原東方標高一六一高地附近ニ
各々對空挺據兵ヲ構築シ、旅團砲兵及海軍砲ヲ掩護スベシ
七 第一線大隊及各守備隊ノ戰斗地境左ノ如シ

右第一線 與武島西端—標高一六三—六高地西側—富山西方谷地

中第一線 糸敷西端—大城西端

左第一線 與武島東端—富里東南方地隙—慶良原北方斷崖高地
西北角

知念守備隊 百名東方無名島—垣花—佐敷村各東端

線上ハ左ニ屬ス

北守備ト各隊トノ境界ハ大城南方谷地、慶良原北方斷崖

高地西北角、圖上玉城村、村、字ノ西ノ三又路—標高

一七三高地東方四〇〇米三又路トス

線上ハ北守備隊ニ屬ス

第八、九、一〇、一一、一二、一三、一四項省畧

一五予ハ絲教戰斗指揮所ニ在リ

南地區隊長 美田大佐

極秘

独立命第六號

独立第二大隊命令

二月二十日 王城村 仲村 栗

一大隊火器增加ニ伴ヒ編成一部ヲ変更シ戦力ヲ

増強セントス

二本部各中隊ハ速ニ左記ノ如ク現編成ヲ修正ス

ベシ

一 本部

二 機関銃

隊(四分隊一分隊長以下九)ヲ新ニ編成

三 中隊

四 小隊

ヲ一般分隊三擲彈分隊一ニ改編

五 機関銃

隊編成ノタメ左ノ如ク二月二十六日夕迄ニ

本部ニ差出シ袴田少尉ヲ指示ヲ受ケシムベシ

六 本部

七 第一中隊

下士官一兵長一

八 第一中隊

下士官二兵一三

第二中隊
第三中隊

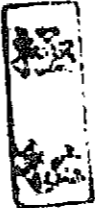
隊長 下士官 兵 一四

兵 五

計 三八名

四細部ニ関シテハ水谷中尉ヲシテ指示セシム
大隊長 古賀宗市

下達法要旨口達後印刷交付
配布先 第一二三中隊
報告先 独混 第一五隊長



独ニ作命 第七號

独立第二大隊命令



二月二十日一八〇。
五城村仲村渠

一南地區隊ハ兵力及火力増加ニ伴ヒ部署ノ一部ヲ変更シ
戰備ヲ強化ス

南地區隊ノ配備ノ細部ニ関シテ既ニ示セル如シ

二大隊(第一隊)ハ北中備隊トナリ北地區隊ニ連繫シ場天

港ヨリ上陸スル敵ニ対シ一部ヲ以テ福福高地ヲ占領スル

ト共ニ主力ハ慶良原東方高地標高一七一三高地附近ニ各対空

近及下親慶原東方標高一六一一高地附近ニ各対空

挺據点ヲ構築シ旅團砲兵及海軍砲ヲ掩護セントス

三第一中隊(一少隊一屬ス)ハ標高一七九八高地及其東南

方高地並ニ新里南端附近ヲ占領シ場天港ヨリ上

陸スル敵ニ対シ堅固ナル陣地ヲ構築スベシ

四第二中隊ハ下親慶原東方標高一六一三高地及標高

一七三高地並ニ上親慶原南方高地附近ヲ占領ス

空挺據点ヲ構築シ一部ハ場天港ヨリ上陸スル敵ニ対スル
戦斗ヲ準備スベシ

五機関銃小隊ハ一部ヲ第一中隊ニ配屬シ主力ヲ第二中隊
陣地内ニ占領シ対空挺據点ヲ構築スベシ

六第一中隊ノ小隊ハ予備隊トナリ慶良原東方高地ヲ
占領シ対空挺據点ヲ構築スベシ

七袴田少尉ハ増加兵器彈藥火藥並陣地構築資材ヲ
速カニ受領シ各中隊ニ分配スベシ

尚予備彈藥火藥ハ慶良原上親慶原附近ノ自然洞
窟ヲ搜索シ集積スベシ

八藤井主計中尉ハ慶良原及上親原附近ニ自然洞窟
ヲ搜索シ糧秣ヲ集積スベシ

九予ハ大隊本部ニ在リ
大隊長 古賀宗市

下達法要旨口達後印刷交付シ配布先オニ三三中隊
報告先独混歩第五隊長

極秘

独ニ作命第八號

独立第二大隊命令

二月二十日ニニ。 玉城村仲村渠

大隊ハ独混一五作命第四二號ニ基キ旅團砲兵隊
陣地構築促進ノ爲所要兵力ヲ差出シ之ニ

協力セシトス

二第一第二中隊長ハ二月二十三日以降各兵力五十
名宛ヲ旅團砲兵隊ニ差出シ同隊ノ作業ヲ援助

セシムベシ

三細部ニ関シテハ水谷中尉ヲシテ指示セシム
四予ハ大隊本部ニ在リ
大隊長 古賀宗市

下達法要旨口達後印刷交付
配布先第一二三中隊
報告先独混歩第一五隊長